

一般社団法人 日本医療薬学会  
平成 27 年度第 3 回定例理事会 議事録

一. 開催日時：平成 27 年 6 月 2 日（火） 13 時 ～ 16 時 50 分

二. 開催場所：日本医療薬学会会議室

三. 出席者

会 頭：佐々木 均

副会頭：奥田 真弘、松原 和夫

理 事：井関 健、青山 隆夫、大森 栄、桂 敏也、河原 昌美、北田 光一、  
吉光寺 敏泰、草井 章、千堂 年昭、谷川原 祐介、濱 敏弘

監 事：大石 了三、山田 安彦

年会長：安原 真人（第 25 回年会）

陪席者

事務局：星 隆弘

欠席者

副会頭：望月 真弓

理 事：川上 純一、宮崎 長一郎、山田 清文、山本 康次郎、山本 信夫

監 事：乾 賢一

四. 議長：佐々木 均

五. 会議の成立

定刻において、議長より開会が宣言され、本理事会は理事 14 名の出席があり、定款第 38 条に定める定足数を満たしており、適法に成立している旨が報告された。

六. 議事の経過の概要及びその結果

1. 平成 27 年度第 2 回定例理事会議事録の確認

議長より、本年 3 月 25 日に開催された平成 27 年度第 2 回定例理事会議事録を基に議事内容の確認が行われ、修正等がある場合には本理事会終了時までには指摘するよう要請があった。

2. 第 7 回定時社員総会議事録の確認

議長より、本年 3 月 25 日に開催された第 7 回定時社員総会議事録を基に議事内容の確認が行われ、修正等がある場合には本理事会終了時までには指摘するよう要請があった。

3. 協議事項

(1) 平成 27 年度学会賞受賞者の選考

1) 功績賞受賞者の決定

議長より、今年度の功績賞受賞候補者の選考に係る功績賞選考委員会での審議結果とし

て、本理事会に 3 名の候補者を推挙したことが説明された。協議した結果、次の 3 氏への功績賞授与が了承された。(以下、五十音順)

- ・ 平井 みどり 氏 (神戸大学医学部附属病院 教授・薬剤部長)
- ・ 安原 真人 氏 (東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科薬物動態学分野 教授)
- ・ 山本 信夫 氏 (株式会社保生堂薬局)

#### 2) 学術貢献賞受賞者の決定

井関理事より、今年度の学術貢献賞受賞候補者の選考に係る学術貢献賞・奨励賞等選考委員会での審議結果及び選考理由が説明された。今年度は 2 名より応募があり、応募資料を基に同選考委員会で審議した結果、両名共に学術貢献賞の受賞候補者として相応しく、本理事会に推挙したことが説明された。協議した結果、次の 2 名への学術貢献賞授与が了承された。(以下、五十音順)

- ・ 猪川 和朗 氏 (広島大学大学院医歯薬保健学研究院臨床薬物治療学 准教授)
- ・ 谷川原 祐介 氏 (慶應義塾大学医学部臨床薬剤学 教授)

#### 3) 奨励賞受賞者の決定

井関理事より、今年度の奨励賞受賞候補者の選考に係る学術貢献賞・奨励賞等選考委員会での審議結果及び選考理由が説明された。今年度は 4 名より応募があり、応募資料を基に同選考委員会で審議した結果、次の 3 名は奨励賞の受賞者として相応しく、本理事会に推挙したことが説明された。協議した結果、次の 3 名への奨励賞授与が了承された。(以下、五十音順)

- ・ 小林 正紀 氏 (北海道大学大学院薬学研究院)
- ・ 菅 幸生 氏 (金沢大学医薬保健研究域薬学系)
- ・ 山本 吉章 氏 (国立病院機構静岡てんかん神経医療センター 臨床研究部)

#### 4) 論文賞受賞論文の決定

大森理事より、今年度の論文賞候補論文の選考に係る論文賞選考委員会での審議結果として、次の 3 編を受賞候補論文として推挙したこと及び選考理由が説明され、協議した結果、当該 3 編に論文賞を授与することが了承された。

- ・ わが国のナショナルレセプトデータベースが示した運転等禁止・注意医薬品の使用実態 (医療薬学 Vol.40, No.2, 67-77 著者: 飯原なおみ ほか)

・ 調剤薬局来局者を対象とした健康食品の使用実態調査とその情報に基づいた CYP2D6 活性阻害評価

(医療薬学 Vol.40, No.9, 488-499 著者: 佐々木崇光 ほか)

- ・ 中等度がん疼痛に対する経口トラマドールと少量オキシコドンの比較試験 (医療薬学 Vol.40, No.11, 625-631 著者: 倉橋基尚 ほか)

#### 5) Postdoctoral Award 受賞者の決定

井関理事より、今年度の Postdoctoral Award 受賞候補者の選考に係る学術貢献賞・奨励賞等選考委員会による審議結果及び理由が説明された。今年度は 9 名から応募があり、応募資料を基に同選考委員会で審議した結果、Postdoctoral Award の受賞候補者として相応しい次の 5 名を同 Award の受賞候補者として本理事会に推挙したことが説明された。協議した結果、当該 5 名への Postdoctoral Award の授与が了承された。(以下、五十音順)

- ・ 今浦 将治 氏 (社会福祉法人恩賜財団 済生会横浜市東部病院 薬剤部)

- ・ 宇佐美 英績 氏（大垣市民病院 薬剤部）
- ・ 中出 順也 氏（金沢大学附属病院 薬剤部）
- ・ 古堅 彩子 氏（北海道大学病院 薬剤部）
- ・ 溝神 文博 氏（独立行政法人 国立長寿医療研究センター 薬剤部）

## (2) 論文賞選考規程及び内規の改訂

大森理事より、論文賞選考規程及び内規の一部改訂について、①委員長の選任方法や委員の構成を実態に合わせることに、②選考委員自身が候補論文に関連した際は選考決議に加わることができない旨を明文化することに、③その他に事項として一部の文言を整備することの3点を改訂する提案があり、協議した結果、当該改訂は了承された。なお、論文賞のほか、学術貢献賞、奨励賞及び Postdoctoral Award の各選考規程及び内規を点検し、委員長及び選考委員が推薦した案件について、公平且つ中立性が担保されるような改訂を加えるための検討を進めることとなった。

## (3) 名誉会員の委嘱候補者の推薦

議長より、社員総会の議を経て委嘱する名誉会員の候補者について、名誉会員推薦基準内規の要件を充足する候補者リストを基に説明があった。全候補者については、現在でも各方面で活躍されている状況であることに鑑み、本学会が位置づけている名誉会員に沿う該当者がいないため、今年度は名誉会員の推薦候補を推挙しない方針が説明された。協議した結果、本件は了承された。

## (4) 平成 28 年度 認定薬剤師制度の認定審査等

青山理事より、第 1 回認定薬剤師制度委員会（5 月 25 日開催）で審議した認定薬剤師試験の受験資格、指導薬剤師の委嘱資格、研修施設の各資格要件への適合性に係る判定結果の説明があった。

### ① 認定薬剤師の受験資格審査

今年度の認定薬剤師には 101 名より申請があり本委員会で審議した結果、100 名が薬物療法専門薬剤師・認定薬剤師認定試験の受験資格を有すると判定したこと及びうち指導薬剤師の委嘱と同時申請をしている者が 5 名いることが説明された。協議した結果、当該審査結果は了承された。（なお、指導薬剤師の委嘱と同時申請をした者が当該認定試験に合格した際には、認定薬剤師の認定と指導薬剤師の委嘱の双方が認められる。）

### ② 指導薬剤師の委嘱審査

今年度の指導薬剤師には 28 名より申請があり本委員会で審議した結果、24 名が指導薬剤師の委嘱要件を満たしていたと判定したこと及び 4 名の不認定理由が説明された。協議した結果、当該審査結果は了承された。（委嘱日：本年 6 月 1 日、委嘱期間：本年 1 月 1 日から委嘱者が受けている認定薬剤師の認定期間の満了日まで。）

### ③ 認定薬剤師制度研修施設の認定審査

今年度第 1 期目の認定薬剤師制度研修施設には 7 施設より申請があり本委員会で審議した結果、従来の判定基準に鑑み、全 7 施設を認定薬剤師制度研修施設として認定可能と判定したことが説明された。協議した結果、当該審査結果は了承された。（認定日：本年 6 月 1 日、認定期間：本年 1 月 1 日から 5 年間。）

また、研修施設の認定要件の見直しを進め、学会が認定する研修施設として適切な認定要件の整備を目指すことが説明された。

#### (5) 平成 28 年度 がん専門薬剤師制度研修施設の認定審査

濱理事より、がん専門薬剤師認定制度委員会で審議したがん専門薬剤師研修施設の審査結果として、今年度は 13 施設より申請があり同委員会で審査した結果、全 13 施設が認定要件を満たしていると判定したことが説明された。協議した結果、当該審査結果は了承された。(認定日：本年 6 月 1 日、認定期間：本年 1 月 1 日から 5 年間。)

#### (6) 平成 28 年度 薬物療法専門薬剤師制度の認定審査

河原理事より、第 1 回薬物療法専門薬剤師制度委員会(4 月 20 日開催)で審議した薬物療法指導薬剤師と同専門薬剤師研修施設の各認定審査に係る判定結果の説明があった。

##### ① 薬物療法指導薬剤師の認定審査

今年度の薬物療法指導薬剤師 8 名より申請があり本委員会で審議した結果、6 名が薬物療法指導薬剤師の認定資格を満たしていると判定したこと又 2 名の不認定理由が説明された。協議した結果、当該審査結果は了承された。(認定日：本年 6 月 1 日、認定期間：本年 1 月 1 日から 5 年間。)

##### ② 薬物療法専門薬剤師研修施設の認定審査

今年度の薬物療法専門薬剤師研修施設には、14 施設より申請があり本委員会で審議した結果、全 14 施設が認定要件を満たしていると判定したことが説明された。協議した結果、当該審査結果は了承された。(認定日：本年 6 月 1 日、認定期間：本年 1 月 1 日から 5 年間。)

#### (7) 任期満了を迎える委員会委員の交代・再任

議長より、前回理事会での協議を受け、委員会細則で規定する就任年数や兼務数が規定数を超えている委員会委員の交代状況を取りまとめた配付資料を基に説明があった。交代対象となる委員を含む多くの委員会では積極的な交代策が図られているが、一部の委員会委員では諸事情に鑑みさらに 1 年間にわたり再任することが説明された。協議した結果、本件は了承された。

続いて、濱理事より、がん専門薬剤師認定制度委員会傘下の 3 つの小委員会委員長と協議し、がん専門薬剤師認定制度事業の継続性に鑑み、後継委員の養成が進んでいない状況を踏まえて、今期でがん専門薬剤師認定制度委員会委員として 6 年目を迎える濱理事自身を委員会細則で規定している再任制限年数を超えて次期の同委員会編成時に委員として再任することを要望することが説明された。議長より、適正な理由があれば、再任制限等を超える委員の就任を拒むものではないことが説明され、本件は了承された。

#### (8) 平成 28,29 年度役員候補者選挙管理委員会の編成

千堂理事より、配付資料を基に、今年度秋期から冬季に掛けて実施予定の平成 28,29 年度役員候補者選挙管理委員会の編成と、開票時の立会人に係る説明があった。同選挙管理委員として、森田氏(滋賀医科大学附属病院)、原澤氏(東京医科歯科大学歯学部附属病院)、永田氏(東京医科歯科大学医学部附属病院)、北村氏(岡山大学病院)、橋口氏(慶應義塾大学薬学部)の 5 名で編成すること、立会人として折井氏(NTT 東日本関東病院)とすることが提示され、協議した結果、当該編成及び立会人の選任が了承された。

#### (9) 後援に関する取扱細則の制定

千堂理事より、前回理事会より継続審議となった後援に関する取扱細則について、同理事会において了承された後援依頼の承認に係る基準等と、今回の理事会に持ち越し審議となった本学会に後援依頼があった際の事務対応、会頭による承認、理事会へ報告するプロセスを明瞭に整備したことが説明された。協議した結果、本細則は了承された。なお、今後、後援申込用文書の雛形を整備し、学会 HP に掲載する方針が確認された。

#### (10) 謝金規程の改訂

奥田理事より、前回理事会より継続審議となった謝金規程の改訂案について、学生が本学会の公開シンポジウム、その他の本学会主催又は共催する講習会・セミナーのシンポジウム・パネルディスカッションで発表者となった場合の謝金の取扱いとして、会員・非会員を問わずに学生を大学院生と学部学生の 2 つに分類して謝金額を設定すること、また学生でも正会員資格を有する場合には正会員の謝金を適用すること改訂案が説明された。協議した結果、年会には本規程を適用しないことなどを確認し、同規程中に追記すること及び一部の記述を修正した上で、本改訂案は了承された。

#### (11) 職員の出張業務に関する取扱内規の改訂

千堂理事より、事務局職員の出張業務に関する取扱内規の改訂事項として、旅費の見直し等を図ることが説明された。航空機の運賃を安価な運賃（実費）として支給することや出張記録を保存すること、また出張に係る労働時間等の取扱いを明瞭にするための記載整備をしたことが説明された。協議した結果、本改訂案は了承された。

#### (12) 前年度会費の遡及に係る嘆願

議長より、前年度会費の遡及の嘆願 4 件について説明があり、協議した結果、全ての嘆願を了承することとなった。

#### (13) 医療事故調査制度における支援団体としての登録

議長より、医療法の改正を受け、本年 10 月 1 日より施行される医療事故調査制度及び医療事故調査・支援センターの運用を通じた本学会としての協力体制についての説明があった。協議した結果、本学会としては積極的に支援団体として登録すべきところであるが、新制度のため不明瞭な点も多いため、従前の医療安全調査機構が運営していた診療行為に関連した死亡の調査分析モデル事業に関わっていた安原年会長（前学会頭）が厚労省に情報を確認した後、登録手続きの可否を判断し対応することとなった。

#### (14) 学術著作権協会・電子的複製権の管理委託契約

議長及び事務局より、学術著作権協会より著作物の電子的複製権を含めた管理委託契約約款及び使用料規程の変更に係る管理委託契約の締結依頼に係る説明があった。本学会では、同協会との間で医療薬学誌の掲載論文の複製権に管理委託契約を締結している。同協会では新たに DVD や企業等のインターネット上への複製を含めた管理委託契約約款及び使用料規程に変更したため、それをもって本学会に新たな契約の締結依頼があった。協議した結果、事務局において同協会への電子的な複製物の取扱いに係る照会確認を行うと共に、役員は本契約約款及び使用料規程の内容を確認し事務局で意見を集約することとなっ

た。

#### (15) メディカルオンライン社・企業向け転載許諾料に係る覚書締結

議長及び事務局より、メディカルオンライン社（以下、メ社という）より依頼があった企業向けの転載許諾契約（転載許諾の代行）に係る覚書の締結依頼に係る説明があった。事務局より、医療薬学誌掲載論文からの転載許諾願いがあった際の許諾状況や許諾料に係る現況説明が行われ、またメ社から製薬企業等に対する転載許諾料の交渉も可能であることが説明された。協議した結果、財務担当理事を交えて、メ社と契約交渉を進めることとなった。

#### (16) (仮称)認定総合薬剤師制度の評価システムに係る対応

議長より、日本薬剤師研修センターが中心となって協議が進められている中堅的な薬剤師を認定する新たな認定制度案の概要と本学会の薬物療法専門薬剤師・認定薬剤師認定試験問題の提供に係る審議経過と本学会の対応についての報告があった。今後も当該協議が継続されるが、本学会としては、当該認定制度には参画しないが、試験問題の提供は行う。また、本学会が不利益を被らないよう意見を述べること及び試験問題の作成・提供に対応できる体制の再整備を図る方針が述べられた。

#### (17) その他

千堂理事より、専門薬剤師育成委員会で議論された本学会の認定・専門薬剤師制度の新たな枠組みに係る検討事項と今後の対応に係る説明があった。新たに大学教員、保険薬局勤務者のそれぞれを対象とした新たな認定制度の設計に係る検討、薬物療法専門薬剤師制度の一部見直す検討を進める方針に至り、3つの検討ワーキンググループ（WG）を立ち上げることになった。各WGのリーダーとして、大学教員WG：青山理事、保険薬局WG：宮崎理事、薬物療法専門薬剤師制度WG：河原理事をもって検討することが説明された。

### 4. 報告事項

#### (1) 第25回年会準備状況報告

安原年会長より、第25回年会の準備状況として、3日間で特別講演6題、特別企画シンポジウム及び国際シンポジウム各1題、公募シンポジウム43題、その他ワークショップ等でプログラムを編成すること及び最新の開催スケジュール予定（日程表）が示された。

#### (2) 委員会報告

議長より、次の各委員会の議事録を基に、議事内容が紹介された。

- 1) 第1回薬物療法専門薬剤師認定制度委員会
- 2) 第1回広報委員会
- 3) 第1回国際交流委員会
- 4) 第2回がん専門薬剤師研修小委員会

#### (3) 後援・後援名義使用依頼

議長より、本学会への後援依頼及び広報の依頼があった次の2件について、了承回答した旨の報告があった。

- ・第6回アプライド・セラピューティクス学会学術大会

(主催：日本アプライド・セラピューティクス学会)

・第9回九州山口薬学会ファーマシューティカルケアシンポジウム

(主催：九州山口薬学会)

以上をもって議事の全部の審議及び報告を終了したので、議長は16時50分に閉会を宣言し、解散した。

上記議事概要及びその結果を明確にするため、会頭及び監事は次に記名押印する。

平成 年 月 日

一般社団法人日本医療薬学会

会頭

印

監事

印

監事

印